

平和学習特集

～子ども達が平和と命、伝えてゆく事の大切さを学んだ6月の学校支援～



南風原小・北丘小・翔南小の低学年では、南風原平和ガイドによる「戦争体験記3部作 平和紙芝居」の読み聞かせが行われました。3部作とも生存者の証言をもとに描かれており、住民が巻き込まれた戦争の様子を知った児童からは、「なんで？戦争は兵隊さんだけがするものではないのですか？」などの質問もあり、ガイドさんは「改めて、子ども達に伝える事は難しいけど大切だと思いました。」と話していました。

学校応援隊はえぼる

できる人が・できることを・できるときに

南風原町学校支援地域本部事業

平成25年9月25日
第10号

南風原町立南風原文化センター職員による平和学習



熊野仁美さん（町子ども平和学習交流事業OB会アオギリ.com会長）は、南風原小と北丘小5年生で、町内に残る戦跡や弾痕の痕の写真などを使い説明しました。



南風原小と北丘小の4年生では平良次子さんが、南風原の学童疎開の様子を「やーさん・ひーさん・しからーさん」の言葉とともに説明しました。また、自身のお母さんの体験談「対馬丸」の話しを児童は熱心に聴いていました。

上地克哉さんは、南風原小・北丘小・翔南小で、砲弾のかけらや、戦闘機の写真を使い平和について考える授業を行いました。上地さんは学習の最後に、「おじいちゃんやおばあちゃんが生きていたからこそ、命が繋がってみなさんが生まれました。その事に感謝して、帰ったらおじいちゃん達にハグしてね。」と話しました。教師からの、「先生もみんなにハグしたい気持ちです。」との言葉に子ども達からは、笑顔が見られました。



大城さんの講話原稿は事後学習にも使われました

と度が、翔南小5年生の時、大城敏雄さん（照屋）と、南風原小の5年生の時、大城敏雄さん（照屋）の講話を聞いた。大城敏雄さん（照屋）の講話は、大城敏雄さん（照屋）の講話を聞いた。



休み時間も与座さんは大人気

送のし 与生 ま調し子 よ
つ人つ最座に戦し達、や満る
て生か後さ、前のの満、州イ
くはりにん子・為州家義ン
だ非し子はど中 農渡と軍タ
さ常てど一も達・作つ離のユ
いに目もつ達一か戦 業たれ募
ま楽標達一はと 後明は過
しい持、丁はと け戦ごあ
のもつ、寧た進 け戦ごあ
のてみにくんで 暮れよた
す張さえんい たり本
。つんてのく 事も土
「ては、れ問座 などをへ
とほ、勉まが 話をの
工し強しあん 話をの
。い強しあん 話をの
を私 。

【翔南小6年】「海外での戦争体験談」

「地雷撤去に挑む」～豊かで平和な大地への復興に向けて～

株式会社日建（山梨県）代表取締役社長 雨宮 清さんを招いて



南風原中学校



南星中学校

と両欲だ雨どイを去 し技 会校、
て校し。宮もフ負現講ピ術講「6
ものいせさ達うつ場話で力師が午
熱生。界んのイたのもにの行後
心徒」には交ン人様は、多よ雨わは
にたと挑一流整々子、くる宮れ南
聴ち工戦沖な備のや力紹国さま星
きは1で縄どや証、ン介際んし中
入暑ルきのを、言、地ボさ貢のた。学
ついをる子話日、雷アてア「動
て体送人どさ本復でアて「動
い育り材もれと興身等いと「南
ま館まに達ま現支体のまし「平
しのしなはし地援に地す、日 和
た中、つ素たのの障雷。本 講
。て直。子う害撤 テの 演

あなたも学校の応援団になりませんか？ ボランティア募集中！
★未来を担う南風原町の子ども達を地域で育てましよう★

南風原町教育委員会
生涯学習文化課
TEL 889-0568

平成二十四年度は「南風原町学校支援本部事業」にたくさんの方の協力のおかげで、今年度も、学校で活躍するボランティアさんの姿を随時お知らせします。南風原町教育委員会 生涯学習文化課